



特集

地域を支える

交通過疎地域における 住民の移動手段の確保

●社会福祉法人 五霞町社会福祉協議会 [茨城県五霞町]

移動サービスに使われる車両には「五霞町協有償運送車両」のステッカーが貼られる

五霞町は、関東平野のほぼ中央、茨城県の西南端に位置し、首都圏から約50km圏内にあり、人口は現在9,954人、高齢化率は19.4%。古くから農業が盛んであるが、現在は企業60数社の工場を擁する工業の町でもある。

移動サービスの取り組みの背景

五霞町では、平成7年4月に「有償在宅サービスセンター運営要綱」を策定した。

この要綱は、高齢者や障害者等が住み慣れた家庭や地域で生活できるよう清掃や洗濯等の家事援助などの非営利的な有償による訪問サービスを行う「在宅福祉サービスセンター」を設置し、介護などの充実を図るとともに、その家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的としている。

移動サービスは、要綱策定当初から社会福祉法人 五霞町社会福祉協議会(以下、社協)により行われており、今日に至っている。

最近では、公共交通機関であるバス路線の廃止が相次ぎ、現在では最寄りの幸手駅(東武鉄道)からの路線バス1系統のみで、それも1時間に1本程度という状況である。さらに、地域では共働きの家庭が多く、日中は高齢者がひとりで病院への通院や外出・買い物などを行うこととなる。

こうした背景から、ますます移動サービスのニーズが大きくなってきている。

移動サービスの概要

五霞町で実施されている移動サービスは、社協を窓口し、サービスの提供を受ける「利用会員」(登録制)と、ボランティアとして活動に参加している「協力会員」の3者で構成されている。「利用会員」がサービスを受けたい日時と内容が、社協経由で「協力会員」へ依頼されるしくみとなっている。

利用料の清算には、「利用会員」があらかじめ購入している「有償在宅福祉サービスチケット」が用いられており、1時間につきサービスチケット1枚(700円)に、走行距離によって定められているガソリン代(現金)が加算され、毎月初めに社協から「協力会員」に支払われる。

「利用会員」の登録者数は現在約130名で、高齢者や身体障害者、

あるいは子育て中の母親など単独で車による移動の困難な人々を援助するために、40~50歳代の主婦を中心とした10名前後の「協力会員」が、家事の空き時間などを利用して活動している。

この移動サービスは、「利用会員」「協力会員」の双方が同一地域の居住者であるため、その信頼関係が厚いことが特徴であるといえる。また「協力会員」は地域の道路網を熟知しているうえに、ボランティアとしての仲間意識も強い。特に社協は「協力会員」との連携に気を配っており、それが円滑な活動を生み出す要因となっている。

「利用会員」と「協力会員」とのコーディネートは社協が行っているが、双方が顔見知りになると、時には「利用会員」から「あのひとに来てほしい」などと指名されることもしばしばである。



「協力会員」が高齢者の移動支援と買い物の付き添いを行う

大切にしていること、そして今後の課題

社協では、活動中の安全運転に万全を期すために、「協力会員」に対して、関係機関で行われる研修会への参加を促すとともに、社協の業務時間外のサービス利用をできるだけ避けてもらうなどのリスク管理を行っている。

また、大切にしていることとして、移動中の車の中での会話などから生まれる「利用会員」と「協力会員」との信頼関係の育成、さらにさまざまな親睦活動をととした「協力会員」同士の交流などがあげられる。「運転者の持つコミュニケーションの力が大切となってきます」と、社協の松本直和さんは語っている。

移動サービスの今後の課題について、松本さんは、「地域に根ざした福祉サービスとして、より多くの人々に利用していただくために、新たな利用会員の発掘がテーマとなっています」と述べており、広報活動や各種イベントの際のPRなどをとおして、移動サービスの普及をめざしている。



活動をとおして、利用者との信頼関係の大切さを実感しています

こうつかとめそう
高塚留蔵さん(右)

有償在宅福祉サービス 協力会員

(左が、社会福祉法人 五霞町社会福祉協議会の松本直和さん)

私が「有償在宅福祉サービス」の「協力会員」として、移動サービス活動に参加して4年目となります。多くの場合が、利用者の方々の外出や通院の送迎と付き添いです。

送迎中の車の中では、健康に関すること、趣味や楽しみに関する話など、さまざまな会話がつきません。私は「利用会員」の方々とのコミュ

ニケーションと、そこから生まれる信頼関係を大切にしています。

最近では73年間の人生経験から私が感じたこと、思っていることなどを、利用者一人ひとりの顔を思い浮かべながら、手づくりの詩に託して利用者の方々にプレゼントし、とても喜ばれています。また、それが私自身の楽しみにもなっています。

特に、高齢者の方々にとっては、たとえ些細なことでも、住み慣れた地域での生活が少しでも豊かになることが生き甲斐につながります。そのためにも、この移動サービスの意義があると思っています。

五霞町に生まれ育った私にとっては、この活動に協力させていただくことが最も大事なことになっています。今後とも、地域の皆さんのために少しでもお役に立てればと、毎日を楽しみ、そして、できるだけ長く続けていきたいと思っています。